

令和8年度 幼稚園概要 (令和7年10月1日の照会に基づく)

幼稚園名称		学校法人蒲生学園 しらとり幼稚園						
所在地・問合せ先		〒983-0006 仙台市宮城野区白鳥2丁目11番24号 TEL: 022-259-2368 FAX: 022-259-5019						
定員		38 名 (令和7年10月1日現在の在園児数: 38 名)						
令和8年度 園児募集定員		満3歳児 の入園	入園の可否		可			
			入園可能時期		随時			
		3年保育(年少)		2年保育(年中)		1年保育(年長)		
		12 名		5 名		1 名		
常勤教員数		8 名						
給食		実施の有無		あり				
		実施日		週 4 日 ()				
		調理場所		園外				
通園バス		あり		主なバス 運行範囲		白鳥・高砂・田子・岡田方面 ※その他の方面 については、可能な限り相談に応じます。		
登園日・教育時間		9:00～14:00						
休 業 日	長期休業日	春休み		3月 22日		～ 4月 9日		
		夏休み		7月 21日		～ 8月 25日		
		冬休み		12月 23日		～ 1月 9日		
	その他休業日		開園記念日					
未 就 園 児 教 室 ・ ク ラ ス	実施の有無		あり					
	未就園児教室名		しらとりびよくらぶ					
	主な活動内容		親子での触れ合い遊び, じゃがいも掘り, 新聞紙遊び, 公共施設(公園)での遊び, クリスマス会, 講師の先生を招いての遊び等楽しく活動できるように工夫をして行っている。					
	対象年齢		活動回数		活動時間		定 員	
			5月～2月 10回 主に木曜日		10:00～11:30		10 名	
			月 回 曜日		～		名	
			月 回 曜日		～		名	
	その他		特になし					
	料 金		無料					
	利用方法		自由参加					
特別支援教育		受入れの可否		応相談				
		方 針		可能な限り受け入れる方向で考えている。その場合, 障害の程度や保護者の協力体制等十分な話し合いを行い決定する。				

保育料等費用	無償化対象(※1)	保育料(月額)	全額無償となります。	
	無償化対象外(※2)	入園時費用	申込金	3,000 円
			入園受入れ準備金	30,000 円
				円
				円
		その他月額費用	PTA会費	550 円
			給食費(牛乳代込)	4,950 円
				円
		その他費用	教材費, 行事費等	必要に応じて徴収する 円
	円			
預かり保育	早朝預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日(月～金)7:30～9:00 20名	
		料 金(※3)	日額 100円	
	通常日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	平日(月～金)14:00～18:30 20名	
		料 金(※3)	日額 17:30まで600円(それ以降30分ごとに100円追加)月額6,000円(早朝, 延長を含む)	
	休業日預かり	実施日・時間・1日の預かり人数上限	毎週土曜日, その他の休園日, 長期休業日7:30～18:30 20名	
		料 金(※3)	通常日と同じ	
	実施しない日	日曜日, 祝日, 年末年始(12月29日～1月3日)		
	新入園児の入園式前の利用(4月1日から)	応相談		
	卒園児の卒園式後の利用(3月末まで)	可		
◆◆幼児教育・保育の無償化について◆◆ ※1 保育料については、全額無償となります。 ※2 実費として徴収される費用(通園送迎費、食材料費、行事費など)は無償化の対象になりません。ただし、年収360万円未満相当の世帯の子どもと第3子以降の子どもは、副食(おかず、おやつ等)費用の減免制度があります。 ※3 預かり保育の利用料は、施設等利用給付認定(新2号・新3号)を受けた子どもを対象に、利用日数に応じて日額450円(3～5歳児クラスは月額上限11,300円、満3歳児は月額上限16,300円)まで無償となります。 ⇒ 詳細は、仙台市ホームページ「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。 https://www.city.sendai.jp/nintechosa/mushouka_gaiyou.html				
児童の安全確保に向けた取り組み		一日4～5回の園内外の巡視。		
卒園児の通う主な小学校		主な進学先としては鶴巻小学校, 岡田小学校, 田子小学校, 高砂小学校である。		
その他(特色など)		小規模な幼稚園なので、その特徴を生かして、一人一人にきめ細かな対応を行っている。一人一人が生き生きと活動している姿は、保護者からも高い評価を得ている。また、幼稚園の農園において、さまざまな野菜の植え付けや収穫の喜びを体験できるように努めている。		